

Q 4 家で長期間保存しなければならない等の事情があるのなら仕方ないですが、すぐに食べるのであれば10日間の物でも問題は無いはず。大量消費社会の中で物を大切にするという気持ちがなくなり、自分さえ良ければということになってしまっていないでしょうか。

Q 5

A : 友だちの言うようにしてみる (自業自得方式) だったら

自業自得方式というような教育ではないでしょうか。そうして育てられた子どもは、他人にも自業自得方式を応用するようになり、困っている友達がいると「自分がしっかりしないからだよ」と先に思ってしまい、相手を思いやり、助けてあげることをしなくなるのではないのでしょうか。

B : 目覚ましの数を増やしたり、起きる時刻にタイマーで部屋の明かりが点くようになど工夫する。
又はC : 起こしてやる だったら

起きられない理由として、低血圧、低体温、寝る時間が遅い、睡眠が浅いなどがあり、まずはそれらを改善することが必要です。それと同時に合理的な工夫をする事も必要ではないでしょうか。部屋を明るくしてやる、目が覚めたら濡れタオルで顔を拭くなども効果的です。朝は誰でも苦手ですから。

Q 6

B : 学校に言って指導してもらおう だったら

家に遊びに来た子ども達のことは学校以外での生活であり、学校に指導してもらおうというある意味人任せではどうなのでしょう、いいのでしょうか。

C : 親に直接言う だったら

子ども達と仲良くするには、親とも仲良くする事も必要です。しつけが悪いということは事実ですが、遊びに来た時に、その場で大人として教えることができれば、一つ一つ親に言うことは必要なのでしょうか

A : 仲良くなることから始める だったら

親がいる時に遊びに来る子どもは素直なのではないでしょうか。大人の言うこともきちんと聞いてくれると思います。あまりやかましく言うと、それが親の性格であっても知らない子どもは、たとえば「靴を脱ぎっぱなしにただけで叱られた」といって遠ざけてしまいますかもしれません。叱るより、まず仲良くなってほめてあげながら教えてあげることもいいのではないのでしょうか。子ども達がお利口になっていく姿も楽しいかもしれません。

Q 7

親は「この時期の子どもはホルモンバランス等により精神的に不安定な時期だ」と、常にそう自分に言い聞かせることが必要です。そうすれば、親が子どもと同じレベルになって、感情的に争うこともなくなるのではないのでしょうか。

親が興奮して、腹立ち紛れに子どもの人格を傷つけるような言葉をぶつけることが無いようにしましょう。そういうことがあると、反抗期が終わる時期になっても、元の親子関係に戻ることができなくなります。

何か物事を決めるときには、まず子どもの言い分や考えをしっかりと聞いてやるのが大切です。その上で受け入れられえことは受け入れてやり、ノーと言うべき時はノーという事です。もちろん、子どもが納得できるような言い方が大切です。

この時期は、親の一方的な強制にはよけいに反発します。ですから、「どちらが偉いかわからせてやろう」とか「親の権威を守らなければ」などと考えて高圧的な物言いをするのはやめるべきです。

親が聞く耳をもたずに門前払いをする事が多いと「親に何を言ってもムダ」と感じるようになります。そうすると、子どもは聞いてくれる人がいるところに行くようになります。夜の街もその1つです。